

世界遺産登録に向けて

絵図から見えること(13)

横島帰帆

「此ノ岩広ク平カナルヲ以テ名トス。春夏遊散人多シ」と古書に紹介されている千畳敷。この沖合に横たわるのが「横島」です。

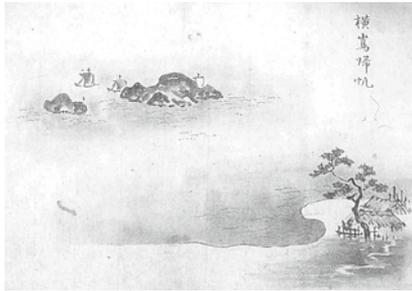
相川では、冬の北西の季節風を「海府風」とも呼び、天保11(1840)年に赴任してきた佐渡奉行の川路三左衛門は、日記の中で「風、甚し…徒部屋の豊吹きあがること、蕙のごとし」と風の強さに驚いています。

また、暴風によってもたらされる高波についても、「…なみの四、五月頃の富士の如く、頭白く、末みどりなる高なみよくみゆる也。其高なみは、実に十間もあるべしや」と記しています。

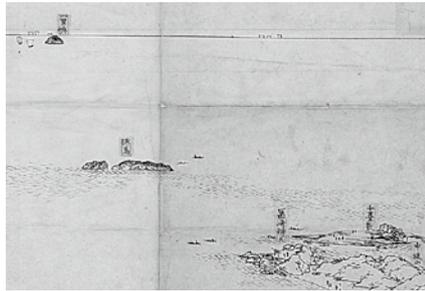
「横島」は、相川の湊であった大間や下相川の北側にあつて、このような冬の激浪をさえぎる離岸堤のような役割を果たしていました。

夏になれば、多くのイカ釣り舟が浮かび、川路奉行は「ことによき眺め也」として、江戸の者に見せたいと賞しています。

「相川八景序」には、横島を目当てに入ってくる舟の様子を「横島



「相川八景 横島帰帆」



「天保6(1835)年御奉行若林様御好草稿」より「横島」の部分

帰帆―真帆ならぬ 風も厥は横島や ころころここに 帰る釣舟」とあります。

◆市役所世界遺産推進課

(金井就業改善センター内)

☎63-5136



佐渡ジオパーク

ジオパーク、推進日記

39

☆夏休みに行きたい！ジオおすすすめスポット☆

椿尾

佐渡には、まだまだ知られていない見どころがあります。今回は、椿尾の石切り場をご紹介します。

真野地区の椿尾集落は、能楽石工の里として、能舞台の復活や、現役

の石工さんが健在であり、地域の特性を集落の活性化に生かす取り組みをしています。「佐渡みかげ」と呼ばれる火山岩の石材を切り出す石丁場を見て回ることが出来る遊歩道が整備され、一つひとつ違う表情を持つ石丁場を見比べることが出来ます。

石仏などに適した椿尾石は、真珠岩質デイスイトと呼ばれています。表面を虫メガネで観察すると、真珠のような丸い玉が観察できます。この真珠岩は比較的やわらかく、ノミをあてても大きく欠けることなく粉

状に碎けるため、お地藏さまの目元や口元など細かい部分を彫ることが出来ます。また、椿尾農村公園にある六地藏七観音も見どころです。さらに、農村公園を抜けた先にある岩本山からは、美しい佐渡の海を眺めることができます。海に向かって安置されているお地藏さまを見ることも出来ます。農村公園からさらに集

落の奥へと進むと、石丁場があります。岩本山や石丁場見学の際は、足元に注意して見学しましょう。また、石丁場ではへびやハチなどに注意しましょう。

椿尾の石丁場から採取された岩石で、お地藏さまだけではなく墓石も作られました。最近では、佐渡を離れ、なかなかお墓参りに行けない方もいるかもしれませんが、石丁場を見学した後は、お墓参りに行ってご先祖様に感謝して手を合わせ、自身もルーツだけでなく、墓石のルーツにも思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

◆教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室(佐渡博物館内)

☎52-2447

